



平成 25 年 9 月 26 日

各 位

上場会社名 大陽日酸株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田邊 信司  
(コード番号 4091 東証第 1 部)

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス  
代表者名 取締役社長 小林 喜光  
(コード番号 4188 東証第 1 部)

### 大陽日酸株式会社と株式会社三菱ケミカルホールディングスの資本業務提携に関するお知らせ

本日、大陽日酸株式会社（以下「大陽日酸」という。）と株式会社三菱ケミカルホールディングス（以下「三菱ケミカルホールディングス」という。）は、資本業務提携契約（以下「本資本業務提携契約」といい、当該契約による資本業務提携を「本資本業務提携」という。）を締結いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 資本業務提携の理由

大陽日酸は、1934 年に国内初の酸素発生装置を開発して以来、空気分離装置と呼ばれる産業ガス（酸素、窒素、アルゴン）を製造するプラントを中核として、さまざまな技術の高度化を図りながら、産業ガスメーカーとして事業を展開してまいりました。

三菱ケミカルホールディングスは、三菱化学株式会社（以下「三菱化学」という。）、田辺三菱製薬株式会社、三菱樹脂株式会社及び三菱レイヨン株式会社の 4 社を基幹事業会社として、機能商品、ヘルスケア及び素材など幅広い分野で事業を展開してまいりました。

大陽日酸は、2004 年に日本酸素株式会社が太陽東洋酸素株式会社（以下「太陽東洋酸素」という。）と合併し発足いたしました。当時、太陽東洋酸素と三菱化学とは産業ガスの製造事業を合併で行うなど提携関係にあり、三菱化学は太陽東洋酸素株式 34.85%（発行済株式総数に対する所有株式数の割合）を所有しておりました。大陽日酸の発足により三菱化学は同社株式の 10.09%を所有する筆頭株主となり、その後、市場で株式を取得した結果、2009 年末までに三菱化学の株式所有割合は、現在の所有割合である 15.12%（発行済株式総数に対する所有株式数の割合）となりました。

三菱化学の親会社である三菱ケミカルホールディングスは、日ごろから大陽日酸の事業戦略の実効性及び成長の可能性に深い理解を有しており、大陽日酸と三菱ケミカルホールディングスは、大陽日酸が三菱化学を含む三菱ケミカルホールディングスグループ各社と広範に連携することが両社のビジネスチャンスの一層の拡大に寄与すると判断し、業務提携を行うことで合意いたしました。具体的には、国内外におけるサプライチェーンの構築及び運営、グローバルなネットワークを活用したマーケティング、拠点活用によるロジスティクス、及び研究開発など、幅広い分野で相互に協働し関係強化を図ることを狙いとしております。

加えて、業務提携をより確固たるものとしシナジー効果を発揮するために、また、大陽日酸の今後の事業展開に係る設備投資等の資金ニーズに対応するために、大陽日酸は第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分（以下総称して「本第三者割当増資」という。）を行うこととし、その割当予定先として三菱ケミカルホールディングスを選定することといたしました。

## 2. 本資本業務提携の内容等

### (1) 業務提携の内容について

#### ① 産業ガス関連事業

大陽日酸では、これまで国内大口顧客向けを中心にパイピングによるガス供給（オンサイトプラント方式）を行って参りましたが、今後は、長年国内顧客向けに培ってきた安定供給ノウハウを、三菱ケミカルホールディングスが計画する新たな海外生産拠点へも展開することで更なる海外事業の拡大を図ります。また、パイピングガス供給により長期安定的なベースロードを確保した上で、近隣市場への液化ガス、シリンダーガス並びにガス関連機器需要も取り込むことで、既存製品・事業との相乗効果による売上拡大も目指します。このような海外での取引、協業を早期に実現させるため、本資本業務提携契約締結後に、両社でワーキンググループを立ち上げて具体的な検討を進めて参ります。

#### ② 販売チャネルの相互活用

両社が保有する販売チャネルの相互活用を進めていくため、本資本業務提携契約締結後に両社でワーキンググループを立ち上げて具体的な検討を進めて参ります。具体的には、大陽日酸メディカル事業の医療用ガス・関連機器の三菱ケミカルホールディングスを通じた販売チャネルでの拡販、三菱ケミカルホールディングスが手掛ける人工炭酸泉、炭素繊維容器における大陽日酸の販売チャネル活用をはじめ、全ての事業セグメントにおいて協業や取引の可能性を検討します。

### (2) 資本提携の内容について

三菱ケミカルホールディングスは、大陽日酸との業務提携に際して、平成 25 年 10 月 15 日までに、大陽日酸普通株式を本第三者割当増資により 45,096,000 株（本第三者割当増資後の発行済株式総数に対する割合 10.41%）取得する予定です。また、三菱ケミカルホールディングスは、本第三者割当増資に併せ、ToSTNeT 市場を通じた取引又は市場外での相対取引（以下合わせて「本相対取引」という。）により大陽日酸の既存株主からの株式取得を検討しており、かかる株式取得が実施された場合には、三菱ケミカルホールディングスの持株比率（間接保有分を含む本第三者割当増資後の発行済株式総数に対する割合）は、最大 27%程度となる見込みです。

なお、本第三者割当増資の詳細につきましては、本日、大陽日酸で開示しております「第三者割当による新株式の発行及び自己株式の処分、並びに主要株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

また、大陽日酸は、平成 20 年 6 月 27 日開催の第 4 回定時株主総会において、「当社株式の大規模買付行為への対応策（買収防衛策）」を導入し、平成 23 年 6 月 29 日開催の第 7 回定時株主総会においてこれを更新しておりますが、本日開催の大陽日酸の取締役会において、本第三者割当増資及び本相対取引を通じた三菱ケミカルホールディングスによる大陽日酸株式の取得が、同買収防衛策に規定する大規模買付行為には該当しないとする旨を決議しております。

## 3. 本資本業務提携の当事者の概要

（平成 25 年 3 月 31 日現在。但し、特記しているものを除く。）

名称	大陽日酸株式会社	株式会社三菱ケミカルホールディングス
所在地	東京都品川区小山一丁目 3 番 26 号	東京都千代田区丸の内一丁目 1 番 1 号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田邊 信司	取締役社長 小林 喜光
事業内容	産業ガスおよび関連機器・装置の製造・販売	グループ会社の経営管理（グループ全体の戦略策定、資源配分等）
資本金	27,039 百万円	50,000 百万円

設立年月日	大正7年7月19日	平成17年10月3日				
発行済株式数	403,092,837株	1,506,288,107株				
決算期	3月31日	3月31日				
従業員数	11,468人(連結)1,386人(単体)	55,131人(連結)97人(単体)				
主要取引先	国内外の製造業	三菱化学株式会社 田辺三菱製薬株式会社 三菱樹脂株式会社 三菱レイヨン株式会社				
主要取引銀行	株式会社みずほコーポレート銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 農林中央金庫	株式会社三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 株式会社みずほコーポレート銀行 農林中央金庫				
大株主及び持株比率	三菱化学株式会社	15.12%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	4.69%		
	JFEスチール株式会社	6.27%	明治安田生命保険相互会社(常任代理人)資産管理サービス信託銀行株式会社	4.27%		
	大陽日酸取引先持株会	5.14%	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	4.07%		
	明治安田生命保険相互会社	3.97%	武田薬品工業株式会社	3.43%		
	全国共済農業協同組合連合会	3.77%	日本生命保険相互会社	3.28%		
	株式会社みずほコーポレート銀行	3.59%	株式会社三菱東京UFJ銀行	2.72%		
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2.93%	東京海上日動火災保険株式会社	2.26%		
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2.78%	SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT -TREATY CLIENTS(常任代理人)香港上海銀行東京支店	2.05%		
	農林中央金庫	2.48%	太陽生命保険株式会社	1.64%		
第一生命保険株式会社	1.87%	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口4	1.55%			
当事会社間の関係						
資本関係	大陽日酸は、三菱ケミカルホールディングスの株式を10,477,182株(間接保有分を含む。)保有しております。 また、三菱ケミカルホールディングスは、大陽日酸の株式を60,947,870株(間接保有分を含む。)保有しております。					
人的関係	三菱ケミカルホールディングスの役員1名が、大陽日酸社外取締役を兼務しております。					
取引関係	大陽日酸と三菱ケミカルホールディングスとの間には、記載すべき重要な取引関係はありません。また、大陽日酸の関係者及び関係会社と三菱ケミカルホールディングスの関係者及び関係会社の間には、特筆すべき重要な取引関係はありません。					
関連当事者への該当状況	大陽日酸は、三菱ケミカルホールディングスの持分法適用関連会社であり、関連当事者に該当します。					
最近3年間の経営成績及び財政状態						
決算期	平成23年 3月	平成24年 3月	平成25年 3月	平成23年 3月	平成24年 3月	平成25年 3月
連結純資産	207,416	219,611	224,253	1,114,003	1,144,954	1,203,316
連結総資産	617,676	607,024	615,820	3,294,014	3,173,970	3,307,758

1株当たり 連結純資産 (円)	481.71	506.02	525.38	514.30	522.77	553.54
連結売上高	483,620	477,451	468,387	3,166,771	3,208,168	3,088,577
連結 営業利益	35,468	31,067	24,884	226,493	130,579	90,241
連結 経常利益	34,167	29,730	23,060	223,899	133,614	87,054
連結 当期純利益	12,736	21,200	△2,071	83,581	35,486	18,596
1株当たり 連結当期純 利益(円)	31.86	53.33	△5.25	58.72	24.06	12.61
1株当たり 配当金(円)	12.0	12.0	12.0	10.0	10.0	12.0

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議	平成25年9月26日(本日)
(2) 本資本業務提携契約締結	平成25年9月26日(本日)
(3) 本資本業務提携開始日	平成25年10月15日
(4) 本第三者割当増資払込期日	平成25年10月15日

#### 5. 今後の見通し

本資本業務提携による、両社各々の業績への具体的な影響額については現時点では未定です。今後、開示すべき事項が発生した場合には、判明次第速やかにお知らせいたします。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

大陽日酸株式会社	広報・IR 部長	諸石 努	03-5788-8015
株式会社三菱ケミカルホールディングス	広報・IR 室長	池川 喜洋	03-6748-7120